

高齢者住宅のある
べき姿を考える

◇参加企業一覧/2017年6月時点

1	F.P.リフレッシュ
2	U.K.カンパニー
3	エヌ・ライフ・プランニング
4	エンパワーマネジメント研究所
5	ジャパンエレベーターサービス株式会社
6	ディメンシア・フロント株式会社
7	パラマウントベッド株式会社
8	ワタミ株式会社
9	応用地質株式会社
10	株式会社LEOC
11	株式会社SPIあ・える倶楽部
12	株式会社イリア
13	株式会社エクシング
14	株式会社オフィスmega
15	株式会社ケアコム
16	株式会社ケアレンツ
17	株式会社トゴール研究所
18	株式会社ハッチ
19	株式会社プラネットコンシェルジュ
20	株式会社メディア・ケアプラス
21	甲信網業株式会社
22	酒井医療株式会社
23	精工技研株式会社
24	積水ホームテクノ株式会社
25	島崎電機株式会社(販売代理店:エレクトー株式会社)
26	富士テレコム株式会社
27	福島工業株式会社
28	有限会社設計工房LIVE
29	株式会社タムラプランニング&オペレーティング(事務局)

事務局/株式会社タムラプランニング&オペレーティング
〒101-0064 東京都千代田区神田錦町 1-13 大手町宝栄ビル 601
電話: 03-3292-1107 ファクス: 03-3292-3288 URL: <http://tamurakikaku.co.jp>

スマートエルダーリビング・モデルプロジェクト
vision2030

高齢者住宅のある
べき姿を考える

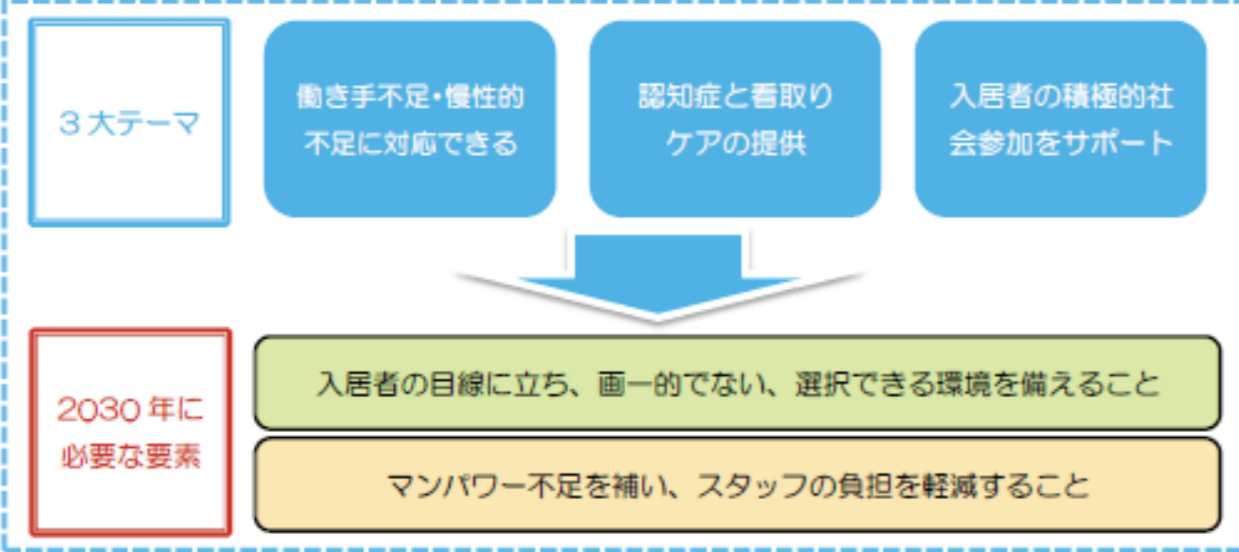
団塊の世代が後期高齢者となる 2030 年がすぐそこまでやってきています。高齢入居者のニーズを入居者目線で考えた時、果たして、高齢者住宅はこのままで良いのでしょうか？
タムラプランニング・アライアンス企業 29 社による 7 つの分科会が 2030 年に求められる高齢者住宅を提案します。



2017年6月

タムラプランニング・アライアンス

◇スマートエーダリービング・モデルプロジェクト vision2030 / 目指す高齢者住宅 (考え方)



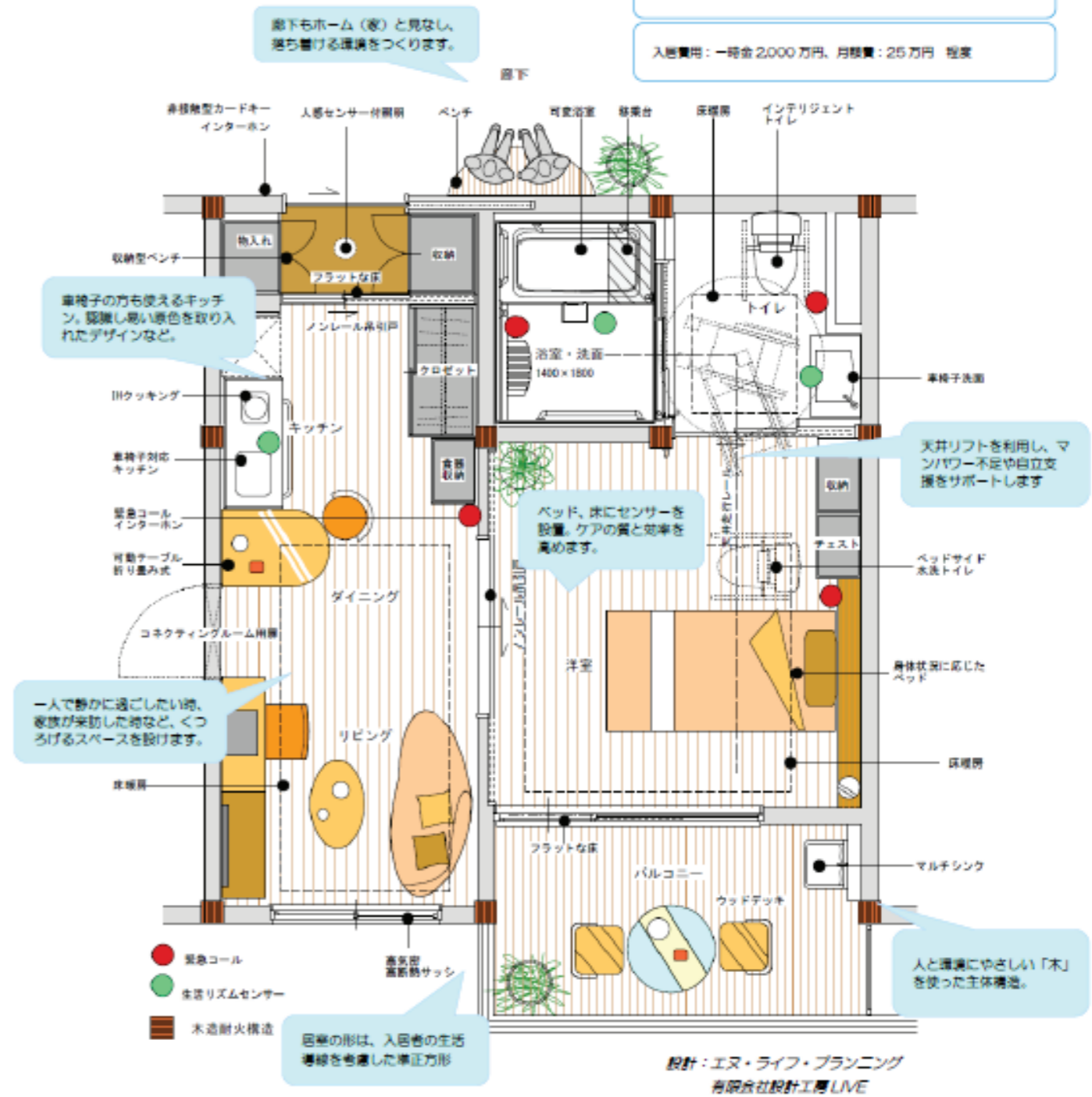
食事	<p>『入居者が選ぶ、自由な食事スタイル』</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者が選択できる余地を増やし、もっと、楽しい食事を実現 「フード・コンシェルジュ」が、入居者とスタッフの間をスムーズに伝達 設備機器で省力化を図る一方、入居者に寄り添い、作る、食べる、参加するを实践 入居者対者へ食事内容を詳しく伝え、入居後のギャップをなくす
入浴・トイレ	<p>『浴室・トイレのキーワードは可変性』</p> <ul style="list-style-type: none"> 居室内に天井走行レールを標準装備し、リフトを活用 共用浴室を地域へ開放、コミュニケーションスペースの機能も有 入居者の身体状況に合わせて可変する、トイレ・浴室の設置
リハビリ	<p>『それぞれのペースで目指す、リ・クリエーション』</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者の生活リズム・身体データを自動取得、質の高いリハビリを提供 自立支援サポート機器により、入居者の活動範囲拡大を支援 入居者個々に合わせたリハビリを提供 「五感の庭」を設置。認知機能の予防、リラックス効果など
認知症ケア	<p>『認知症があっても楽しく暮らし続けられる高齢者住宅』</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠検査、音楽療法、食事によって、良い睡眠を目指す 認知症の初期から高度に至る、すべての段階で支援 高度認知症への対応として、個別対応や早めの医療の関わりを重視 外出、旅行、働くことなど、認知症の方を受け入れる環境づくり
ターミナルケア	<p>『思い通りのターミナル』</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族などが来訪した時に、ゆったりくつろげるスペースの確保 IT、ロボット等の活用。疑似体験の実現やストレスの軽減など 最期までどのように生きたいかを実現する「ターミナルケアプラン」 「ターミナルコーディネーター（看取り士）」等の人材採用、育成
ハード環境	<p>『建築が暮らしと環境をたすける』</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築をサービスとして捉え、「暮らしと環境を助ける建築」を造る 主体構造は、人と環境にやさしい「木」 「ゼロエネルギービル」を目指すため、省エネ設備・機器を導入
エネルギー	<p>『再生可能エネルギーで創エネ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光などの環境にやさしい再生可能エネルギーのみで住宅内の全エネルギーを賄う 「ゼロエネルギービル」を目指すため、創エネ設備・機器を導入

◇スマートエーダリービング・モデルプロジェクト vision2030 / 目指す高齢者住宅 (居室モデル)

暮らしを継続する 35.0 m²の居室

コンセプトは「入居者がこれまでの暮らしを継続できる」住宅です。生活に必要な水回り設備を設置し、入居者の身体状況によって可変できる機能を持たせました。また、天井リフトによって、入居者の自立支援とスタッフの負担軽減を図ります。心地よい空間を実現するため、ダイニング・リビングやバルコニーのスペースも設けてあり、家族や友達が来てもしっかり過ごせます。狭い居室では、生きる活力が生まれません。2030年に向けて、35.0 m²の居室を提案します。

住戸専用面積：35.85 m²、バルコニー面積：6.65 m²
 入居費用：一時金2,000万円、月額費：25万円 程度



設計：エヌ・ライフ・プランニング
 株式会社設計工務LIVE